

# 川崎市市民ミュージアム収蔵品目録

歴 史 資 料

第 4 集

旧下菅生村 城所清家文書

旧坂戸小学校所蔵 坂戸村文書

旧菅村 佐保田可家文書

2001

川崎市市民ミュージアム

## はじめに

川崎市市民ミュージアムでは、市域に関わる考古・歴史・民俗資料をはじめとして、今日の都市文化に大きな役割を果たした複製技術による芸術作品の調査研究および収集・保存を目的に、1989年11月に開館した複合文化施設です。

さて市民ミュージアム歴史部門では、すでに準備室の段階から多くの市民の方々のご協力のもと、歴史資料の所在調査や収集をすすめてまいりました。また1965年以来博物館活動を担ってきた産業文化会館（現教育文化会館）の所蔵資料も保管替えとなっており、現在歴史部門では近世期の地方文書を中心に、数多くの資料を収蔵しています。そこで、これら所蔵資料の内容を紹介し、かつ多くの研究者や市民の方々の利用に供することを目的として、市民ミュージアム収蔵目録—歴史資料—を順次刊行しています。これにより所蔵歴史資料につき、広くご利用いただければと思います。また一方歴史部門では、川崎市域史を解明するために不可欠な文書資料を共有の財産として広く公開しようと、『川崎史史料叢書』を刊行しております。こちらも併せて、ご利用いただければと思います。

なお本書は、第四集として市民ミュージアム開館以後に寄贈、あるいは保管換えされた古文書を三件収録しました。

最後になりましたが、資料調査についてご快諾いただき、さらに貴重な古文書をご寄贈くださいました旧所蔵者の皆様に、あらためて厚く御礼を申し上げます。

2001年3月

川崎市市民ミュージアム

# 目 次

はじめに .....	1
凡 例 .....	4
解 説 .....	5
旧下菅生村 城所保家文書 .....	7
旧坂戸小学校所蔵 坂戸村文書 .....	32
旧菅村 佐保田司家文書 .....	55

## 凡 例

1. 本書は、川崎市市民ミュージアム歴史部門が所蔵する資料の目録集である。歴史部門が所蔵する資料は、市民ミュージアムが建設準備段階から会館以後に収集した資料以外に、1965年以降博物館施設として機能していた川崎市立産業文化会館（現教育文化会館）学芸課が所蔵し保管替えとなった資料も多数含まれている。これら資料を含め所蔵資料の大部分は近世期の地方文書であり、いずれも川崎史域史を解明する上で貴重な資料群である。

そこで本書は、第四集として近年収集された下菅生・坂戸・菅の三つの旧村文書を収録し、広く紹介するものとする。

2. 旧下菅生村城所保家文書については、すでに神奈川県史編纂の際に刊行された『神奈川県史資料所在目録—川崎市（その1）—』第42集が基本の目録として利用されていたが、目録内には資料の遺漏などもあり目録としては不完全な部分もあった。そこで今回あらためて再整理・再分類を行い、新たな目録としてまとめた。従来目録と若干異なる部分もあると思うが、未収録であった資料も新規に追加している。また坂戸村文書および旧菅村の佐保田司家文書については、これまで未紹介の資料群であり本書をもって基本目録とする。

3. 原則として資料の原題を表題としたが、原題の記されていない資料、あるいは原題のみではその内容が判然としない資料などについては、（ ）を付して仮表題もしくはその具体的な内容について記した。

4. 年代が不明の資料については特に記さないが、内容などから推して判断できる場合は、（ ）を付してその年代を記した。

5. 形態は、資料の形状により縦、横、小横、綴、状、葉などに分類した。

6. 表題などが破損・虫損などによって判読不可能な箇所については字数を推定し、□・  
□□□□・□□□□で示した。さらに前欠、後欠、あるいは虫損の程度などの注記についてはくゝで示した。

## 解 説

### [旧下菅生村 城所保家文書]

城所家文書は、元禄期から明治期にいたる資料421件からなる。近世文書は元禄5年の下菅生村検地帳をはじめ名寄帳などが含まれているが、その多くは質地証文である。当家の文書の中で特筆すべきは、明治期以降の戸長役場関係文書であろう。明治4年の戸籍法公布以降、戸長・副戸長の設置や区番組・大小区制へと明治初期の地方制度の整備と、それに対する地域の対応などを考える上で参考になる資料が多く含まれている。この目録では明治2年～20年まで、編年的にまとめてみた。

### [旧坂戸坂戸小学校所蔵 坂戸村文書]

この坂戸村文書は、市民の方が独自に蒐集した村関係の古文書を一括して坂戸小学校に寄贈していた資料群である。各古文書の出所については不明のため、坂戸村文書としてまとめて目録化した。享保期から明治期にいたる376件からなり、圧倒的に明治期以降の資料が多い。

### [旧菅村 佐保田司家文書]

佐保田家文書は、享保期から昭和期にいたる448件の資料からなる。最古の文書は享保2年の村々用水絵図であるが、この絵図をはじめ18世紀後半に起きた大丸用水をめぐる争論関連文書がまとまっている。また年貢割付状も宝永2年～慶応2年まで約50点あるが、なかでも享保14年の割付状は田中休愚の黒印があり貴重である。また昭和初期の旅行ガイドブックや観光地案内書、旅行広告なども数多く含まれ、戦前の旅行ブームを窺う上での好資料といえるだろう。